

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(2年目)案件:2006年10月分

番号 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 小樽商工会議所【OTARU-ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

(実行委員会)

・台湾および東京での展示会および市場調査における派遣人員について、10月10日、書面協議による実行委員会を開催し承認を得た。

(ワーキング・グループ会議)

・10月25日、第3回ワーキング・グループ会議を開催し、10月10日の実行委員会で承認された、台湾および東京での展示会および市場調査における派遣人員を報告。また、台湾での展示会での展示内容について、(1)昨年度のJAPANブランド事業で製作した試作品の展示、(2)各参加企業のオリジナル作品の展示をすることとなった。

展示什器およびレイアウトに関しては、台湾展示会への派遣者に一任することが了承された。台湾での展示会における試験販売については、出展企業に販売意向を確認したところ、試験販売を希望する企業と希望しない企業とに分かれ、試験販売をするのであれば出展企業が統一して行ったほうが良いという意見も出された。協議の結果、最終的に台湾での展示会では試験販売は見送ることとなった。

(その他)

・10月30日、台湾での展示会・市場調査派遣メンバーによる打合せを行い、展示の構成、使用什器、市場調査の内容等について協議した。

<担当者のコメント>

台湾での試験販売に関しては、実際の購買行動を調べる方法の一つとして、これまで長く検討を重ねてきたが、条件的に難しい部分も多く、全ての出展企業の理解を得ることができず、最終的に行わないという結論になった。海外での販売については、各参加企業の経営戦略などによって対応も変わることから、台湾での販路拡大に強い意欲を示している企業については、現地での流通ルートや買付業者等の情報を収集し、提供することで海外進出のサポートを行っていきたい。

2. 旭川商工会議所【『旭川家具』ブランド確立推進事業】

<今月の事業実施状況>

10月5日にドイツの国際的なインテリアデザイナー、ペーター・マリー氏を招聘して、来年1月にドイツ・ケルンで開催される国際家具見本市に出品する作品の選考会を行った。選考会には6社から試作品15点と製作担当者24名が出席し、ペーター・マリー氏からは「アジア的なデザインが魅力」と、ソファや飾り棚など8点を選出した。

この8点は、ケルンメッセの先行発表会と位置づける「旭川家具コレクション2006TOKYO」11月22日～25日東京TOC有明に於いて開催に出展をする。



10/5 ケルン国際見本市出展作品選考会

<担当者のコメント>

ケルンメッセ出展は、今回で2回目であり、前回の反省点と今年8月にもペーター・マリー氏の助言を聞いていることから、選考会では各作品全般にわたりマリー氏から高い評価を受けることができたと思う。

今月、東京で開催する展示会はケルンメッセ出品作品のほかに、18社からそれぞれ新作が発表される。

3. 弘前商工会議所【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

1. 10月2日(月)10:00~12:00 打合せ
2. 10月4日(水)10:00~12:00 市場調査
10月5日(木)9:30~11:00 (株)カッシーナ・イクスシー大阪店 展示打合せ
3. 10月13日(金)10:00~18:00 津軽食と産業まつり ブース出展
~ 2月フランクフルト・メッセ・アンビエンテブース再現
10月15日(土)
4. 10月20日(金)10:00~19:00 白神とキルトフェスティバルIN弘前2006ブース出展
~ 2月フランクフルト・メッセ・アンビエンテブース再現
10月22日(日)
5. 10月18日(水)16:00~21:00 新商品開発試作品製作WG 関西市場調査打合せ
6. 10月19日(木)16:00~21:00 新商品開発試作品製作WG 関西市場調査試作品選定、打合せ。
7. 10月24日(火)14:00~15:30 東北経済産業局ヒアリング調査

4. 東通村商工会【「飛躍する未来へ!!「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

10月16日(月)東通村商工会においてJAPANブランド育成支援事業「飛躍する未来へ!!ひがしどおり海山喰(か)さまい創出」プロジェクト、第1回ブランド開発合同部会及び第2回海の幸ブランド開発部会(部会長:三國優)地酒ブランド開発部会(部会長:山崎孝悦)既存商品改良部会(部会長:杉本稔)を行った。合同部会においては、各部会ごとの事業計画が発表された。また各部会へは前回の部会で決定した事業計画に沿って、ブランド開発及び商品改良について今年度実施する干し貝柱・干しアワビ・干しナマコセット、みそ貝焼きセット、ジュラ紀湧水仕込み「吟醸酒」開発及び昨年度開発したジュラ紀湧水仕込み特別純米酒「祈水」の古酒づくりやジュラ紀湧水仕込み特別純米酒「祈水」の能舞演目シリーズ化に向けて取組む具体的内容を話し合った。

10月23日(月)東通村役場4階大会議室において第2回JAPANブランド育成支援事業「飛躍する未来へ!!ひがしどおり海山喰(か)さまい創出」プロジェクト実行委員会を行なった。今回は、各部会の経過報告、ブランドデザインの検討・決定、9月に行なわれた中国大連市での市場調査報告、今後のスケジュール等について行い、ブランドデザイン検討・決定では、合同部会で検討・候補を決定した(案)3つを披露し、検討した。1つの案に決定したものの、若干の修正箇所が求められた。次回委員会で修正後のデザインを再度発表することになった。中国大連市での市場調査報告では、山本プロデューサーと相馬アドバイザーの2名で皆さんに結果を報告。また11月22日に展示商談会を開催、23~12月12日まで、フラマホテル大連が東通村美食フェアを開催してくれることを発表した。

今後とも豊かな自然の中で育った海と山の幸、おいしい水をキーワードに、地域の素材にこだわった高級志向・健康志向製品を開発。国内は横浜等、海外は中国大連等で市場調査、展示会や商談会を開催し、販路の開拓拡大を目指し、イメージキャラクターや商品パッケージの製作も含め、飛躍する未来へ突き進んで行くこととする。

5.	山形商工会議所【山形発「カロツツェリア型ものづくり」のブランド展開】 <今月の事業実施状況> 消費者からの強い要望により、山形工場の製品を一同に紹介し購入できる場として、インターネット販売を開始した。
6.	会津若松商工会議所【BITOWA FROM AZU】
7.	川口商工会議所【Casting Innovation 新・川口鑄物の創造】 <今月の事業実施状況> 【10月4日】 「技術士・地元企業・デザイナーによる打ち合わせ」 モノづくり担当とデザイナーによる相互調整を行った。モノづくり担当からは、鍋の大きさや形状、取っ手等の部材の形状・素材等について意見要望が出された。一方、デザイナーは、鍋本体の鑄肌の品質、(実際の現場を視察したうえで)想定される生産体制、作業工程、技術レベル等を確認した。 【10月12日】 「JAPAN ブランドプロジェクト委員会」 本年度作成する製品のデザインについて協議した。主な協議の内容としては、デザインコンセプト、フォルム、デザイン作成のタイムテーブルなど。 各プロジェクト委員からは鍋の形状、カラー、重量、大きさ高さ等に関する意見が出され、次回委員会に2月の展示会に向けたファーストラインナップのデザイン案を提出することとなった。 【10月19日】 「技術士・地元企業・デザイナーによる打ち合わせ」 競合他社製品の検証(特に鑄肌レベル)と鍋の大きさや形状、取っ手等の部材の形状・素材等について調整を図った。これをもとに、デザインモデルを作成し、委員会にデザイン案を提出する。 <担当者のコメント> 商品開発とデザイン作成、そしてプロジェクト委員による意見調整によって、本プロジェクトの先鞭となる商品が見えてきた。 今後は、どのような生活シーンに向けてブランド化を図るかをより明確にし、デザイン作成・商品開発・販売計画を確立したいと考える必要があると考える。 中・長期的なビジョンを踏まえながら、今年度に取り組みべき範囲(まずは2月の展示会にしっかりとした目標・意思をもった商品を出品すること!)を全メンバーで共有したいと思う。
8.	富士吉田商工会議所【海外展開ブランド支援事業『プロジェクト Fuji-façonné(フジ・ファソネ)』】 <今月の事業実施状況> 9月6・7日に出席した TISSU PREMIER 展における32社の引合について、サンプルの送付等の事後フォローを個別に実施。 展示会開催中に TISSU PREMIER 展開催地、リールで開催されるイベント『Lille3000』事務局より当該イベントへの出展商品提供の依頼があり、商品を提供した結果イベントにて展示された。 また、展示会には来場しなかったものの、開催前に招待状と当地製品の紹介を送った先のひとつである有名ブランドから、当地製品のプレゼンの依頼があり、パリ在住コーディネーターとエージェントでプレゼンを実施。いくつかの商品をピックアップされ、サンプルを送付。 次回(1月31日・2月1日)の TISSU PREMIER 展のブース配置等を検討のうえ、出展申込。



	<p><担当者のコメント> 9月のTISSU PREMIER展での、活発な商談の結果多くの引合を受け、エージェントを通し個別にフォローを実施しているが、取引成立を目指し今後も細かい対応が必要であると考えます。 また、上記、有名ブランドへのプレゼンの結果ピックアップされた商品の今後の動向に期待が持たれる。</p>
9.	<p>三条商工会議所【SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>◆海外見本市「フランクフルトメッセ・アンビエンテ2007」への出展 10月19日メッセ事務局より展示小間確定の連絡が入り準備を進める。 出展に向けての準備のため参加企業にアテンドの要請、装飾関係について検討。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 展示会名: アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2007 (アンビエンテ国際消費財専門見本市) 2. 会 期: 2007年2月9日(金)～13日(火)9:00～18:00 3. 会 場: ドイツ・フランクフルト国際見本市会場 4. 主 催: フランクフルト国際見本市会社 5. 小間番号: 出展ホール9.1 A78 dining キッチン関係 3m×5m 2サイドオープン 展示小間を昨年より広く希望していたが昨年同様のスペースしか確保できなかった。 <p>◆「JAPAN BRAND at 三条・燕・加茂」 10月25日、三条、燕、加茂の3会議所担当者による打合せ会を開催。 全体スケジュールなど詳細についての打合せ。展示方法については装飾業者を含め再検討。 開催期間中、泉田県知事も上京予定があり来場される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期 平成18年11月28日(火)～12月2日(土) ・会場 東京日本橋NICOプラザ#2(日本橋三越本店向かい)
10.	<p>燕商工会議所【“enn”ブランド育成支援事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 「燕三条の逸品」に出展、市場調査を行った。 日時: 10月4日～6日 場所: 東京日本橋新潟館 NICO プラザ#2 主催: 財団法人新潟県県央地域地場産業振興センター</p> <p>「広域関東圏地域ブランド戦略フォーラム」に出席、PR 活動を行った。 日時: 平成18年10月26日 場所: さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂 主催: 関東経済産業局 パネルディスカッション: 地域ブランド形成の進捗等に応じた管理活用戦略、「enn」ブランド育成委員会委員長 明道章一他</p> <p>デザインをもとに具体的な製品作りを開始した(漆塗り金属洋食器、ステンレス製ザル、ワイヤー製バスケット、透かし彫りプレート、ステンレス製カップ、ステンレス製鍋、銅製鍋)。</p>
11.	<p>加茂商工会議所【桐を中心とした加茂木工ブランドの海外市場販路確立プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/6 ケルンメッセ打合せ ブースデザイン、カタログ等について打合せを行った。 ・10/10 NICO プラザ出展にかかる打合せ スケジュール、レイアウト等の打合せを行った。 ・10/23 梱包方法について打ち合わせ 商品の破損防止等を考慮した包装資材について検討した。

【その他】

グッドデザイン賞受賞。特別賞「日本商工会議所会頭賞」を受賞
(10/23 当所太田副会頭が授賞式出席)
<http://www.g-mark.org/library/2006/award-syoukou.html>

＜担当者のコメント＞

・グッドデザイン賞・特別賞の受賞は大変喜ばしいことである。11月には展示会が目白押しだが、これを機に KAMO ブランドの認知度を高めていきたい。

12. 岡谷商工会議所 【岡谷絹＜純絹(あしぎぬ)＞製品のブランド化事業】

＜今月の事業実施状況＞

岡谷絹工房織手の皆さんを対象に、染め、デザイン関係の研修会を開催した。

日時 10月15日(日)午前10時～正午

場所 岡谷絹工房2F会議室

出席者 岡谷絹工房織手20名

講師 更科花織工房 窪田孟恒先生(長野県千曲市在住)

内容 東京での研修生活からあんず染色を始めたきっかけや、あんず染色による絵紺に実際に触れ、染色方法、素材や糸の選択、基本的なデザイン感覚等について学んだ。



絹研修会
(10/15 岡谷絹工房 2F 会議室)

＜担当者のコメント＞

今回の目玉でもある純絹諸紬の男性用ジャケット地、女性用ネックウェアの生地が間近となり、11月には仕立てに入れそうで、12月のJAPAN CREATION2007に出品できる目途がたった。

来年1月にフランス パリで開催されるメゾン・エ・オブジェ2007の出展確定の連絡が、11月初旬にJETROから入りました。11月末までの船便梱包や手続きが急務となりそうである。

13. 飯田市鼎町商工会 【「飯田水引ブランド」世界へのはばたき】

＜今月の事業実施状況＞

○9月20日:第7回プロジェクト委員会(パリ事業展開の検討会)

今後の展開方法に若干の意見の相違が生じたので再度協議し方向性を確認。
コンサルタント和田直子氏にフランス情報の収集を依頼。

14. 福田町商工会

【FUKUDE コード・ルネッサンス MISSION～コーデロイ(ブランド名 solbreveco)の世界への発信】

＜今月の事業実施状況＞

10/1 ホテルコンコルド浜松 結婚式披露宴にて、新郎新婦がお色直しに solbreveco ジャケット、ドレスを着用。

出席した JAPAN フランド委員会委員がプロモーションDVDを使ってブランドをPR。

10/12-14 静岡市 ツインメッセ静岡 静岡産業フェア 2006 展示

10/20 第2回専門家委員会議

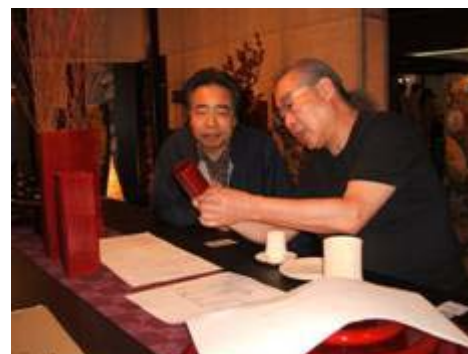
海外進出支援アドバイザーによる知識の習得について

今後の事業実施について(JC出展・伊勢丹出展・リテール分科会活動・solbreveco 会活動・委員会開催

ねんりんピック静岡への協力・ハマツコレクション出展について)

10/28-29 ねんりんピック静岡 ファッションショーにて試作品披露
ハマツコレクションブース出展

15.	<p>一宮商工会議所【JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 2008年SS素材開発のため、アパレル情報やトレンド情報を出展参加企業にむけての発信をしました。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 2月のフランス・イタリア訪問に向けての、素材づくりのスタートです。</p>
16.	<p>有松商工会【創造と進化～有松鳴海絞りブランド～】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 今月はおもに、11月に開催される「有松鳴海絞 in KYOTO」へ出品する試作品の製作を行っています。 10月3日 第5回JAPANブランド実行委員会 開催</p> <p>11月の予定 「有松鳴海絞 in KYOTO」11月28日(火)29日(水)京都産業会館 「京都デザインウィーク」11月1日(水)～7日(火)アネックスビル(SOUSOU)写真参照</p>
17.	<p>高山商工会議所【「飛騨春慶のある生活提案」によるブランド育成事業(リビング編)】</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ ○ブース面積を120m²にすることで決定した。 出展会場であるパリ メゾン・エ・オブジェ主催のプラネット・ムーブルの出展面積を決定し、正式な申込書をフランス見本市協会に提出した。</p> <p>○商品開発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家具は、新規に13アイテム(ソファ、ソファテーブル、ベッド、ナイトテーブル、スクリーン、ローボードなど)をポイントとして春慶塗を加えて順 調に進行し、11月中旬には完成する目途がついた。 2. 照明器具も新規に6種類(フロアスタンド5種、春慶塗卓上スタンド)の開発に取り組んでいる。 3. 春慶塗の取手付コーヒーカップとマグカップは、取手部分とスプーン・フォークについて、春慶塗の木地師ではできないことがわかり、急遽、飛騨のクラフトマンに製作依頼をした結果、手彫りで実に今までにないいいものできた。 4. 繊維製品は、新規にソファの貼り地(1柄)とチェアカバー(3柄)及びベッドカバー、ピロケース、クッション等、ほぼ開発が完了に近づいてきた。 5. 陶磁器については、新規に22種のアイテムにオリジナルの上絵をつける開発を進めている。開発完了予定はぎりぎりになる状況である。 6. 和紙繊維の織物は、まもなく試作があがり、そこから絞り込み選定を実施した上で、本織にかけるので開発完了は未定である。 <p>＜担当者のコメント＞ ・前回の反省による今回の課題として、接客記録のとり方と記録表を作成した。 この記録表を接客時に活用することが、前回の問題を解決することになる。 ・今回の出展は正念場であり、今まで果たせなかったよりよいエージェントとの出会いをかならずや獲得する意気込みで出展準備を進めている。 ・商品開発についても、予定より遅れ気味ではあるが、前回の経験から新規に加えるもの、改良するものを含めて、日本の美を強調できる新しいトータルなライフスタイル提案が果たせるものと確信できる内容になってきた。</p>



18. 紀北町商工会【JAPANブランド ザ たべきり】

<今月の事業実施状況>

■市場調査・海外出展

台北市に続く海外市場の第2弾として、中国山東省・済南市において“ラボラトリー手法”(実験的店舗)を用いて、『JAPANブランド ザ たべきり』シリーズの主流商品となる「昭和の食卓」(ひもの)・「レンジ料亭」(加熱調理済ひもの等)などを中心とした、試食・サンプル配布・商品展示・インタビューなどによるマーケティングリサーチを行った。

- 開催期間:平成18年9月27日(水)～10月4日(水)
- 開催場所:中国山東省・済南市 山東銀座百貨店
- 名称:「三重・紀北町 食フェア」



食フェア(9/27-10/4)
中国山東省済南市 山東銀座百貨店

■専門家招聘

上記の出展会場に専門家を招聘し、今後の販売戦略の策定や商品開発を目的に、JAPANブランド商品に対する消費者の生の反応をはじめ他店舗・現地市場等を目視調査するなど各種情報収集を行った。

- 平成18年9月25日(月)～10月3日(火) 伊藤力行氏(マーケティング)

上記の出展にあたり対中国輸出食品に係る中国政府の規程調査、中国政府への申請作業、対中国貿易システムのアドバイス、現地(山東銀座商城)との打合せ業務など多岐にわたりバックアップをしていただいた。

- 周二川氏(流通)

当紀北町へ専門家を招聘し、『JAPANブランド ザ たべきり』シリーズ商品製造の開発事業所を視察して、製造工程のほか、味等について確認を行い改善点を指摘した。また、現場において新商品を実演試作。今後の研究課題を提案した。

- 平成18年10月12日(木) 庄司仁氏(商品開発)

<担当者のコメント>

今回の開催地である中国山東省は、当商工会が第一次受入れ機関となって当町で水産加工技術研修をしている中国人研修生の故郷にもあたり、中国に日本の『三重県・紀北町の地場食品』を売り込むチャンスと参画事業者の意気込みを強く感じた。

中国への輸出は、関税や輸出前の検査など「壁は厚く狭き門」を実感。フェア前日に地元紙が「日本の問題ある(輸入)食品は死を招く」と報道する逆風の中で開催を迎えた。通常なら中止を考える状況下だったが、デパート側の後押しや中国人研修生送り出し機関に協力をいただいたほか、当町で水産加工技術研修を受けた中国人研修生OBたちが、現地スタッフとして商品の良さをPRする等、当初の計画通りに無事実施できた。また、富裕層消費者へのインタビューから一般的には「日本の食品は安全・安心・おいしい・清潔」と知られているのが確認できた。

19. 輪島商工会議所【「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—】

<今月の事業実施状況>

9月末に開設した常設展示場については、月曜日を定休日とし継続して、NYにてPRを行っている。

10月については他の展示会開催等はなく、9月末に開催した展示会の展示品荷物の集配、決算等の事務的作業を中心に行った。

また、HP作成についての事前打合せを実施し、作成内容の詳細を詰めた。

<担当者のコメント>

中間決算をむかえて、事業の進捗状況等の確認を行い、全体事業の把握を行った。結果、単発的な展示会の開催よりも常設展示場を開設したことによる、対費用効果は高く、NYにおける輪島塗の可能性に手応えを感じている。

今後の課題としては、開設した常設展示場の運営をより効率よく、回転させていくかを検討し、常設展示場と会議所との情報流通を蜜にしていける必要がある。

20. 能登町商工会【『能登の醸し』ブランド発信事業】

<今月の事業実施状況>

- 来年3月のNY展示会出展に向けた打ち合わせの開催と研修会への参加
- 販路拡大のため東京への市場調査を実施

<担当者のコメント>

- 来年3月のNY展示会出展に向けた打ち合わせの開催と研修会への参加
国際レストラン・フードサービス・ショーに出展予定。JAPANパビリオン28ブース内4ブースを石川県ブースとし、本商工会を含め9事業所で共同出展する。

昨年に引き続きNYでの展示会出展で現地情報収集等を十分に行い、効果のある出展としたい。また、日本の食材は注目を集めており、様々な料理や新しい料理のジャンルで日本産品が幅広く利用される素地が醸成されつつあるこの機会を捉え、NYの食関係者に対し、石川県の食材・食品や食周りも含め「いしり」を総合的にアピールし、相乗効果を狙いたい。

- 販路拡大のため東京への市場調査を実施
能登での商談会開催のため、新宿高島屋と品川にあるディーン&デルーカを訪問し、協力を依頼した。
バイヤーと生産者双方がWIN・WINの関係を持てる絶好の場であると考え、「いしり」の詳細はもちろん、そもそもその存在すらも、食関係者への周知は十分ではないし、当方からの発信情報も十分ではないのが実際である。能登では売る側・作る側の双方は従来出会う機会が希少で、本機会は「最小コストで最大効果」を実現する可能性があると思われるし、本商談会をきっかけとして関係を親密・強固に育てることも可能であると考え、「売りたい側と買いたい側との出会いの場を活用し、ビジネスとして成長発展することを祈念する。
また、売る側には、地方から良いものを見つけてその商品を育てていくタイプ、最初から大きな販売量を期待するタイプ、PBでの販売を考えるタイプなど販売店側の戦略を見極めた上でのセグメントが必要になるのではないだろうか。

21. 山中商工会【YAMANAKA ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

- 9月30日～10月9日 地方がつくるジャパニスタイル出展(富山県高岡デザインセンター NUSSHA 商品)
- 10月16日 新宿 伊勢丹 NUSSHA 展(11/8～11/14)打ち合わせ(山中漆器伝統産業会館5人参加)
- 10月18日 NYメトロポリタン美術館 CONSERVATOR 土肥氏と山中漆器NY展示会について懇談
- 10月23日 経済産業省ロビー展示(10/23～11/18)に NUSSHA ブランド出展
- 10月12日～23日 メールにてミラノ・トミタデザインと次期商品開発及び欧州での販売戦略打ち合わせ

10月のNUSSHA 記事掲載誌

- ・CasaBRUTUS 11月号(10月10日発売 株マガジンハウス社)
- ・TITLe 12月号(10月26日発売 文芸春秋社)



経済産業省ロビー展示
(10/13~11/18 伝統的工芸品月間)

<担当者のコメント>

次年度のNUSSHAブランドの核となるべき新商品開発を進めているが、メールのみの打ち合わせではデザイナーの目指す方向と産地側との微妙な差違が埋められずスムーズに進捗していない。11月のデザイナー来日打ち合わせ時に最終決定を予定している。

22. 鯖江商工会議所【めがねのメッカ福井県鯖江市「THE291(フクイ)」のブランド展開】

<今月の事業実施状況>

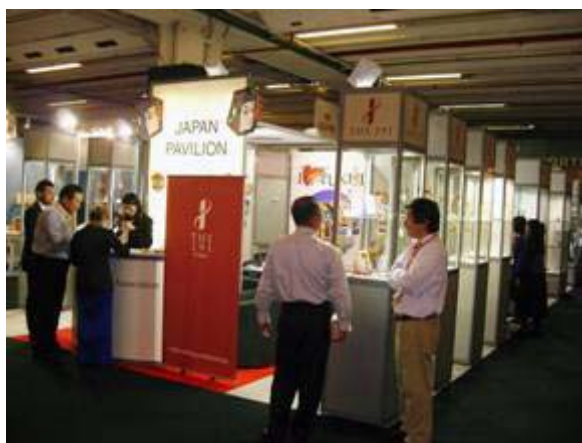
- ・第4回プロジェクト委員会 10月18日(水) 正午~午後2時

(内容) 具体的なプロジェクト案について 田中コーディネーターから5つに分けて消費者に分かりやすくブランドをまとめる提案があった。参加者の中には自社の名前が出ないので売りにくいとの意見もあった。

- ・展示会に出展

IOFT(10/11~13) SILMO(10/27~30)

両展示会とも、商談、引き合いがありIOFTでは国内の取扱店が40店も増えた。引き合い件数も昨年とは違い10件程度まとまりトータルで数千万円の成果があった。SILMOでも昨年と異なり商談、引き合いが多数あった。ただ、ヨーロッパのバイヤーは、商談はするが値段の折り合いがなかなかつかず、台湾の業者との取引が成立したのみであった。



Silmo PRIS
(10/27~30 フランス・パリ)

<担当者のコメント>

展示会での商談は、今回委員長と副委員長が参加してほかのブランドも3ブランドほど取引ができたものがあったが、ほとんどが委員長と副委員長のブランドに集中していた。参加しない委員のほうにも責任があるが、やはり商品の魅力がないからだと思う。数多く展示会に参加している委員長や副委員長はどんなめがねが受けるか、心得ている。次回は、他の委員も参加できるよう参加費を補助するなどして参画者が肌で自社のブランドの評判を肌で感じて欲しい。

23. 京都商工会議所【KYOTO PREMIUM】

<今月の事業実施状況>

- ・10月10日～11日 個別ミーティング
各参画事業者とプロジェクトスタッフが開発商品について打ち合わせた。
- ・10月11日 第3回ワーキング委員会
メゾン・エ・オブジェ出展および運営、広報制作物、プレス発表会等について検討した。
- ・10月24日 フランス・パリ視察団の募集開始
- ・カタログ製作開始
- ・プレス発表会の準備・招待状送付(約1,000部)

<担当者のコメント>

- ・開発商品プレス発表会招待状の発送先に苦慮した。

24. 京都府商工会連合会【丹後テキスタイル】

<今月の事業実施状況>

- 10/5 「コーディネーターとの事業打ち合わせ」
コーディネーターの帰国を受け、今後の事業推進についての打ち合わせを行う。特に今月末に現地コーディネーターの来日が決定したため、それを受けての次回ワーキング委員会の対応を検討した。
- 10/11 「第6回ワーキング委員会」
現地コーディネーターの受け入れ対応について協議。また、現地コーディネーターとコーディネーターの話し合いによる提案のあった展示会の集客の方針が採用された。この方針に基づき招待状や現地コーディネーターの使用する説明ツールの作成をすることとなり、内容については現地コーディネーターを交えた次回のワーキング委員会で決定することとした。また、会場については旅行業者の提案するホテルを採用することとし、開催時期は1月末とする事が提案された。これについては、現地コーディネーターの意見を踏まえて最終決定することとなった。
- 10/23 「現地コーディネーター当連合会訪問」
現地コーディネーターが池田氏と来所。事業の打ち合わせを行う。現地コーディネーターはコーディネーターと現地企業訪問のため丹後へ向かう。(11/23-25 現地企業訪問)
- 10/26 「第7回ワーキング委員会」
現地コーディネーターを交え開催。展示会開催時期を1月末、開催場所をパリ市内のホテルとすることが決定した。また、招待状の素材・内容を決定。説明ツールの内容については各事業者の素材を持ち寄り次回ワーキング委員会までに作成することとなった。現地コーディネーターより今回の来日の感想や事業社に対する提案をいただいた。その話の中で、先に池田氏が渡欧の際にサンプル提供した丹後ちりめんの生地をフランスの新進気鋭のオートクチュールデザイナーに提供しドレスを作成してもらっており11月にそのデザイナーが来日する際にそのドレスを当方にご提供いただけるとの話があり、11月はじめに大阪にてそのデザイナーと委員長及び事務局がお会いすることが急遽決定した。

<担当者のコメント>

会場・日程・招待状の内容が決定、いよいよ展示会の具体的内容の検討に入ることとなった。今回、現地コーディネーターと日本で会議を持ったことはお互いの理解のうえで大変大きく、限られた予算の中、骨を折ってセッティングしていただいたコーディネーターのご足労には頭の下がる思いである。貴重な時間を頂いた現地コーディネーターに報いるためにもぜひ実りあるものにしていきたい。

25. 一宮町商工会 【～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立】

＜今月の事業実施状況＞

●試作品開発

- ・香立(中)の型及び色見本、香司の説明しおりの原案検討
「あわじ島の香司」のお香と香立(中)をセット化したものに香司の説明しおりを入れる
- ・香りのペアストラップ(コーン2個入16種類)設計図作成
- ・試作品と共に販促ツールも作成する。(ディスプレイケースや新商品チラシ等)

●HP作成(3カ国語) パリ市場調査時にあわせて日本語版に加え、英仏版も作成 <http://awaji-kohshi.com/>

●市場調査 10/25～10/27 パリ市内小売店訪問及び商社との商談、展示会開催候補会場下見



兵庫県パリ事務所訪問

＜担当者のコメント＞

今後はパリでの調査報告をもとにフランス及び国内の販売計画や展示会の開催方法等の事業展開を協議する。

26. 御坊商工会議所 【木の国「置き和室」国際ブランド化プロジェクト】

＜今月の事業実施状況＞

10月度は9月度に引き続き、事業の中心課題である製品改良と海外展示PRについて推進する。製品改善・海外展示PRに向けて、専門家委員会を通じ、具体的現場作業を実施する。アメリカロサンゼルス海外展示へ向けて、海外展示コーディネーターと契約。

1. 製品改良について

- <きのくに御坊ひとま>の集いタイプ(5.5畳)の製品改良ポイントに基づき、試作品製作を継続。
- 憩い半畳タイプは、九州大川で、試作化検討。具体的に試作品製作を継続。

2. 海外展示PRについて

- ジェトロパリ事務所展示の具体的展開内容検討と実施準備推進。実施計画策定。
- ロスでの展示PRが日米交流文化会館ギャラリーに決定。実施内容の検討と実施準備。現地実施コーディネーターと契約。
- 海外展示PR使用のコミュニケーションツール制作。(海外向けパンフレット・展示ボード・海外向けDVDなど…)

＜担当者のコメント＞

当面海外展示PRへ向けて、製品改善試作品製作も佳境になる。11月上旬を目標に試作品が完成し、その後パンフレット撮影、海外輸送梱包へ。海外展示PRへ向けた、展示プランやコミュニケーションツールなど制作に入り、11月10日の本委員会で確認の段取りとなる。現状までは、順調にスケジュール通り進んでいる。今後は、これら作業と併行して、国内外における製品マーケティングへ向けた戦略プラン策定と展開が課題になってくる。

27. 松江商工会議所 【NEW 松江菓子海外市場開拓プロジェクト】

＜今月の事業実施状況＞

- 1) 3日 渡米事業「和菓子バー」担当職人(4名)との打ち合わせ
- 2) 10日 実行委員会 価格調査内容について、展示内容について
- 3) 13日 渡米事業用備品打合せ
- 4) 20日 渡米日程説明会
- 5) 搬送品準備、整理(21日～22日)

<担当者のコメント>

- 1) 渡米事業については、現地との確認事項が多くあったものの、時差があるためリアルタイムの打合せがしにくいのが実情である。
- 2) 備品については、現地で調達できるものが意外と少なく搬送品が増えてしまった。
- 3) 原油価格が高騰しているため、航空運賃や輸送費が当初の予定より高かった。

28. 府中商工会議所

【FUTON-STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業)】

<今月の事業実施状況>

1. 第3回ワーキンググループ会議

とき 10月2日(月)午前10時~正午

ところ 府中商工会議所

内容 ラスベガスの出展について

○出展商品について

- ・佐々木木工株式会社 ベッドルームと和のリビング(ベッド・チェスト・シェルフ・パーティション・ベンチ)
- ・株式会社松創 ダイニング、リビング(サイドボード・ダイニングテーブル・ダイニングチェア・キュリオケース)
- ・松岡家具製造株式会社ベッドを中心にした寝室(ベッド・チェスト・階段タンス・アクセサリチェスト)

○会場レイアウトについて

- ・配置については、千田氏より、いくつか候補をあげていただき、入り口からの客の流れを考え、客から商品がすぐ見える配置に決定。この配置に基づき、千田氏にレイアウトしていただく。完成次第、各社へ確認、修正を加える。
- ・パネルは照明を入れたものを考える。
- ・展示会場の照明については、千田氏の提案内容で、現地の代理人に確認する。
- ・備品について、展示ブースに花を置きたいので、置くことができるかどうか確認する。

○輸送会社について

- ・何社か見積もりを提示し検討する。一番安く輸送のできる株式会社日新に決定する。

○カタログ作成について

- ・何社か見積もりを提示し検討する。印刷、撮影代、仕上がりイメージから、K-ブレーンに決定する。
- ・商品の詳細については、A4版ぐらいで展示会のそばに置けるようにする、商品の詳細・各社のカタログは現地の代理人へ英訳依頼する。
- ・ブースの看板や商品説明のプレートに提示する統一ロゴを決める。
統一ロゴは、日本(府中)からの家具の発信ということで、「Fuchu Furniture, Japan」に決める。

○事前PRについて

- ・DM用と展示会用の2種類のパンフ作成が必要か確認する。

○販路開拓戦略について

- ・セールスレップや販売店の募集パネルを展示会中に展示小間へ置く。

○展示会製作と今後スケジュール

- ・11月中旬に出展商品を完成させ、その後写真撮影を行う。
- ・船積みをして12月15日頃に、2週間程度でロスに着くので、輸送会社で保管、その後会場へ持って行く。

2. 第4回ワーキンググループ会議

と き 10月30日(月)午前10時30～正午

と ころ 府中商工会議所

内 容 会場レイアウトについて

○商品配置

・再提案いただいたイメージ図で決定。

・他社との差別化と空間をコーディネートするため、天井にカーテンをつける。ただ、現地の代理人に取り付けることが可能か確認をとる。

○パネル・受付

・商談テーブルは、こちらが作っていく予定だが、現地レンタルが可能か確認する。

・受付には椅子を置かない。

・パネルについては現地で製作する。寸法・素材設営方法などは現地の業者に任せる。また、スポットライトと床シートを付けてもらうよう指示する。照明パネルを和紙で覆うようにする。和紙の素材は“杉皮和紙”を希望する。この和紙であれば通常使われている和紙より厚く、海外の業者でも貼ることができる。

○照明

・照明の位置については、各社8個ずつ、ブースの横半分のラインに沿って、設置するようにする。

・60ワットのものを使用。商品を展示してから設置したいので、脚立が貸してもらえるかどうか確認する。

<担当者のコメント>

・展示会のブース設営について、具体的なことが決まった。ただ、パネルの寸法や設営方法が日本の場合と違うため、現地での確認事項が多くあり、調整に時間が取られている。

29. 熊野町商工会 【「FU-DE」世界的ブームの創出。みんなで描こう！世界のスマイルフェース】

<今月の事業実施状況>

10月1日 第3回試作品開発・評価委員会 デザイナーと試作内容確認及び打ち合わせ
—試作品作成期間—

10月23日 第9回実施委員会 展示会出展ブース獲得経緯報告
試作品披露、デザイン決定

10月27日 第4回試作品開発・評価会議 デザイナー試作品確認
ネーミング・パッケージ等依頼

<担当者のコメント>

熊野町商工会URL: <http://www.shokuma.or.jp>

新聞記事掲載中!!

30. 高松商工会議所 【「6jo」(ロクジョウ)ブランド確立事業】

<今月の事業実施状況>

JAPANブランド育成支援事業

暮らしを楽しくする道具をコンセプトに開発した「6jo」ブランド商品の巡回展

「欲しかったモノできた展」を開催

◆巡回展示会「欲しかったモノできた展」

日 時 平成18年10月4日から10日までの7日間

場 所 (株)山形屋(鹿児島)

9名のクリエイターが開発した代表作品30点を展示。

山形屋百貨店の入店客で多数のご来場があり、高い関心と評価を得た。

◆巡回展示会「欲しかったモノできた展」

日時 平成18年10月11日から17日までの7日間

場所 ネットヨタ南国(高知)

9名のクリエイターが開発した作品150点を展示。

入店客1,500名のご来場があり、高い関心と評価を得た

◆巡回展示会「欲しかったモノできた展」

日時 平成18年10月17日

場所 全日空ホテルクレメント高松

四国商工会議所女性会連合会香川大会の開催に合わせて同会場において開催。

9名のクリエイターが開発した作品150点を展示。

四国四県の商工会議所女性会会員約400名の参加があり、会議の前後及び休憩時等に見ていただき、高い関心と評価を得た。

31. 東かがわ市商工会【市場性を重視した試作品から商品への展開を図り、ブランドの確立と、メーカーと市場を繋ぐシステムの構築】

<今月の事業実施状況>

■第1回ワーキング委員会(10/13)

(1)インテリアトレンドショーについて

・ブースイメージ等の協議を行なった。

・今回出展する商品イメージについての協議をする。コンセプトは「たおやかな」しとやかで上品な女性のイメージで鮮やかな色を使用してキャリア女性の暮らしのアクセントとなるインテリア雑貨商品にすることになる。

(2)デザインコンペ

・募集要項及びデザイン公募事業実施要領の説明確認を行なった。

■デザインコンペ事前説明会開催(10/24)

開催日時 平成18年10月24日 13時30分～15時

開催場所 OZONE8階 セミナールームA

参加デザイナー 19名

説明事項 (1)「GLOBE DESIGN」プロジェクトの概要及び今後のスケジュール説明。

(2)小田急百貨店及びSTILAR C.K.Mより制作商品の想定顧客説明。

(3)募集要項・デザイン公募事業実施要領及び申し込み方法について説明。

(4)デザインアドバイザーからメーカーの持っている技術の特徴、また革という素材の特性について説明。

■インテリアトレンドショーの会場設営打ち合せ(10/24)(OZONE8階 会議室)

図面を見ながら打ち合せを行なった。

■伊丹市立工芸センター「包む。展」に出展

開催期間 平成18年9月21日～10月15日

開催場所 みやのまえ文化の郷 伊丹市立工芸センター BIF企画展示室

(試作品の貸与展示)

32. 福岡商工会議所【21世紀博多織 JAPAN ブランド】

<今月の事業実施状況>

東京の著名デザイナー石黒のぞみ氏にコンタクトを取り、博多織の生地を見てもらうことにより、同氏と西村織物(紫野工房)とのコラボによる生地の開発を行い、同氏が10月20日に東京で発表したコレクションにおいて博多織を用いた作品が発表された。(掲載記事、西日本新聞、織研新聞は既にメールにて送付しています。)

10月19日幹事会を開催。
・欧州市場開拓について協議。事前に欧州に送るサンプル帳と英文リーフレットを報告。渡欧時期は当初予定の11月下旬から、現地の受け入れ態勢(バイヤーとのコンタクト確立)が整うまで遅れることとなった。
・1月の成果発表会を市内の会場において行う。その際に地元デザイナー(公募)による作品のファッションショーを行うことを決定。
10月27日 プロジェクトのHPをリニューアルオープン。

<担当者のコメント>

石黒のぞみ氏は他のデザイナーに対する影響力も大きく、コレクション発表の後、他のデザイナーから石黒氏に生地についての問い合わせが来ているという。石黒氏は当事業の趣旨を理解しており、そういう機会には、博多織を使っていると言ってもらっている。

地元デザイナーに対する説明会において、地元デザイナーにとってすら博多織は高級品というイメージがあって、敷居が高いと思われ、素材として直に観る機会が少ないことが再認識された。実際に見たデザイナーたちからは、素材としての水準の高さに感動し、改めて福岡から「博多織」をなくしてはいけないという意見があった。

33. 大川商工会議所【大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業】

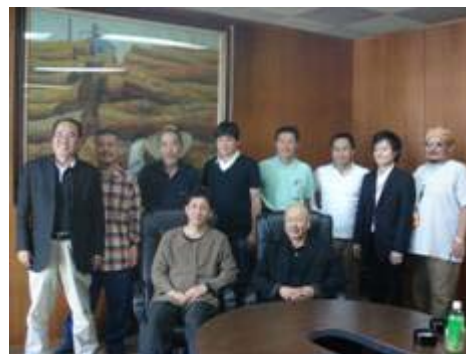
<今月の事業実施状況>

10月7日 近藤・小泉両デザイナーと事業所との意見交換を行い、製品デザインの提示を受け、協議を行った。

10月11日 新ブランド開発ワーキンググループ会議で、JAPANブランド事業に関する商品開発のスケジュールを確認した。また、パリ展示会の出展について、場所等が未定のためジェトロに確認を行うこととした。

10月17日 メゾン・エ・オブジェ2007出品者説明会出席
・全体説明、輸送説明、JETROサービス説明を受けた。
・なお、出展の確定や場所については、11月頃に確定する予定。

10月24日 近藤デザイナーと製作事業所との製品チェックを行い、製品化の協議を行う。
(小泉デザイナーの製品チェックは、11月2日に実施予定)



<担当者のコメント>

事業者は、製品製作に取り掛かりパリの展示会に向けた具体的な作業に取り組んだ。

34. 広川町商工会【古くて新しい！新風久留米緋ブランド化事業】

<今月の事業実施状況>

10月5日、10日、17日、31日に若手テキスタイル部会を開催した。先月より新柄生地の制作に入っているが、図案については、デザイナーの起こした図案を久留米緋図案に変更する作業を部会で行った。麻混糸の染色も1ヶ所で行うことに決定した。色出しについては、デザイナーのアドバイスにより決定した。パンフレットや工程パネル説明用の工程写真の確認、説明文の作成を行った。実行委員会は開催せず、来年の展示会に向けての商品等の制作活動に集中した。事務局サイドではIFFに関して織研新聞社との打合せや、海外出展の準備作業を行った。

<担当者のコメント>

商品開発のほかに、久留米耕エッセイ・写真集の制作などの広報活動や、展示会が近まってきたこともあり事務的作業が増え忙しくなってきた。商工会のその他のイベントで忙しい時期であったので、事業者やデザイナーがそれぞれ急ピッチで作業を進めてくれたので非常に助かった。作業部会を週一ペースで開催したことで事業をスムーズに進められていると思う。

35. 苓北町商工会【CERAMICA AMAKUSA 天草陶石・陶磁器ブランドプロデュース事業】

<今月の事業実施状況>

○10月23日(月)PJ委員会(第3回展示会委員会)開催

(1)JAPAN EXPO出展について

事前発送船便荷物について再度確認(10月20日発送済み)
船便に混入できなかった備品・手荷物等を手配及び確認
英訳ちらし及び英訳パネルを確認発注。
出展・渡航費用について確認。日程について確認。
参加者5名を決定。交流会の段取りについて協議。各人の役割分担を確認。

(2)くまもと物産フェア出展について

展示品について確認。レイアウトや担当人員割振りについて確認。傘下商工会に協力要請。
荷物搬送について協議。一部テスト販売を行う。

○1月の「アクロス福岡展」に関して準備

広報紙に掲載する記事について、写真等資料提供。



36. 大分県商工会連合会【Harb&Harvest Oita プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

10月13日 ワーキング会議開催

(1)最近の状況について

パッケージ開発完了次第、高級スーパー等に商談交渉することに決定した

(2)パッケージ開発について

高級スーパーの酒類コーナーに「酒楽」コーナー設置を働きかけるため冷蔵什器およびコーナーサインやPOPツールを開発することに決定した。また15アイテムの見直しを行う(パッケージ、ラベル...陳列用)

(3)試食会について

- ・準備が出来次第、湯布院「玉の湯」へアプローチする
- ・実施場所は、坐来の隣のフロアーや大分県由来のあるホテルや会場で行うことに決定した

(4)海外展開への準備に向けて

- ・パークハイアット北京に11月~12月商談
- ・香港シティスーパー

(5)WEBサイトの充実について

ふるさと見本市までには作り上げたい

(6)折込チラシ、申込チラシ版下の作成について

サンプル配布済みであるが、生協の広範囲に働きかけする。

(7)ギフトセットの商品の追加(新商品開発)について

期間限定、数量限定で

(8)参画事業者のグループ化と継続的事業実施体勢について

- ・新規参画事業者は3社
- ・今後の組織運営について...今後も本ブランドを維持していくため、参画事業者には正会員、賛助会員として年会費をいただき、組織運営を行う。

10月20日 ワーキング会議を開催

(1)今年度事業の中間結果と今後の取り組みについて

- ・サンプル配布状況とこれまでの商談結果について
- ・関心を示している先が数社あるが、条件面での交渉で少し時間がかかるが出荷態勢は整った。

(2)お歳暮時期のアプローチ結果について

サンプル販売が8月～と遅かったため、歳暮時期の商品としての扱いに間に合わなかった。第2弾の完成が11月中旬の目標としているので、中元交渉時期(11月下旬～)の提案には間に合わせる。

(3)試食会の開催日について

首都圏の試食会は、時期がずれてきたので、11月の全国ふるさと見本市にターゲットを絞って行うことに決定した。

(4)試作品開発について

15アイテム開発中13アイテムが製品化可能となった。

(5)海外展開への可能性について

今後の事業展開に向けて実現化するためには、強いパイプがなければ終わってしまう。ファインド社が現自社事業もパークハイアットとの関係を継続していくつもりなので、今年度事業として本事業成果をラルフ氏に報告し、提案するため11月～12月に北京に訪問する。

37. 鹿児島県商工会連合会【薩摩が誇る美と技のコラボレーション】

<今月の事業実施状況>

・10月4日に第3回ワーキング会議を開催。(1)フランス・パリ海外市場調査報告(2)ブランドコンセプトについて(3)試作品について(4)スケジュールについて検討。

(1)メゾン&オブジェの出展について、予想以上の経費の負担・最低3年間の出展・出展後の企業の対応などを考慮すると不可能である。フランスの展示会においては独自の展示会を開催。フランスコーディネータとしてIB Projectsの和田直子にお願いすることにした。

(2)ブランドコンセプトについては、地元コーディネータ鈴木氏からの提案があり参加業者で話し合ったメインテーマ「黒から生まれる色彩とぬくもりのモノづくり」サブテーマとして「プロダクトフォーワン」で決定。

(3)試作品については、11月末までに完成させる。また、大島紬村以外の参加事業者を積極的に募り、試作品を開発してもらう。和の部分をかきながらヨーロッパの人にも受け入れられるモダンなデザインを取り入れた商品を開発することとした。

(4)スケジュールについて、10月末に地元コーディネータの鈴木氏がウィーンの市場調査を行い、昨年度ウィーンの展示会をコーディネートしたWICのエベリンさんと展示会について打合せをし、展示会場等について決定する。また、12月に東京で開催する予定だった展示会は2月に変更することとした。

・10月11日 龍郷町の大島紬業者(有)興紬商店と(株)夢おりの郷がこのJAPANブランド事業に参加することになった。

・10月29日～31日 地元コーディネータの鈴木氏がウィーンの市場調査を実施。

<担当者のコメント>

・11月末までに試作品の完成を目指すのが、時間的に難しい。12月中旬にカルネの申請予定であるが、どうしても試作品の完成が遅れた場合は、展示会には手荷物で持っていくことになる。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(1年目)案件:2006年10月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p>札幌商工会議所【スイーツの街・札幌 ブランド発信事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 当会議所および北海道、札幌市、北海道新聞社が主催で、札幌市の中心部・大通公園で行われる食のイベント「フードランド北海道2006inSAPPORO」において、北海道の代表的なおみやげ菓子を展示紹介するため、「北のブランド」「クラーク博士の贈り物」のお菓子の紹介ブースを設置した。パネル展示、パンフレット配布等を行い、また札幌市が運営する「さっぽろスイーツ」の販売ブースと連携し、“食”を目的に来場した観光客に向けて「北のスイーツ」の盛り上げを図った。</p> <p><担当者のコメント> “食”に興味のある観光客対象だったので、パネル展示は盛況であった。ただいかんせん食品の販売が行えなかった為、ほとんどすべてのブースが食品販売、飲食提供のフードランド北海道の中では、反応がいまひとつ掴めなかった。札幌市が運営した「さっぽろスイーツ」の販売ブースが大人気で、商品も連日完売していたため、相乗効果という意味では良かったと思われる。</p>
2.	<p>盛岡商工会議所【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 10月9日～15日の日程で海外調査を実施。フィンランドへ訪問し、現地の事情を視察した。フィンランドのデザイナー等の招聘について、日程の検討と調整を行い11月26日から12月2日にかけてデザイナーを招聘することとした。 今後、提示されるデザインについて、試作企業の調整、技術的な検討、モデリング等を行い、フィンランドデザインによる南部鉄器の新製品の試作に取り組んでいく予定である。</p>
3.	<p>菟田野町商工会【UTANO ブランドの創出～毛皮・鹿革を活用した地域ブランド構築プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 第2回実行委員会・・・ ・6月から取り掛かった当事業の進捗状況中間報告を各委員に説明した。 “鹿革”の持つ素材特性 (1)原皮の繊維密度が細かいため非常に柔らかく、感触が良い。(2)吸水性が良い。(3)油や汚れも吸い取る。(4)繰り返し(洗濯して)何度も使用できる。 を活かした新商品作りとブランド育成をコンセプトに取り組んでいる。 2つのワーキング部会を設け、その道の専門家を委員に迎え試作品開発と機能性評価を踏まえ実用化の可能性を協議して来た。 ・今後の事業方向性をも含め委員に説明、意見を聴いた。 飾雑貨部会 ・(株)イビサの全面協力の下に婦人用高級バッグの製作というコンセプトで取り組んでいる。 先月もコメントしたが、鹿革の素材感を生かすと素材特性が弱点になることが試作段階で判明してきており、素材感を残したままの試作改良には難点も多い事から、技術面での対応に苦慮している。 試行錯誤を繰り返し試作品製作に取り組んでいる現状である。</p> <p><担当者のコメント> 実行委員会での意見</p>

・素材となる鹿革の優れた特性を生かした試作品アイデアは数々製作していただいたが、鹿革の特色を活かした商品の共有認識をし、もっと多角的ないろんなアイデアの抽出とブランド育成を目的とした商品開発をすべき。

・化粧マスク、パフなどのターゲットはプロのエステシャン、鹿革の部分使いを前提とした“かばん”づくりの取組み、ジャパンブランドで今回取り組んだ商品以外にアイテム数を増やして“鹿皮”の底上げを図っていく事の検討。

・限定したものにロゴ、ネーミングが偏ることのないよう取り組む事。

・“鹿革”を活かしたアイテム商品の海外(仏、独など)出品、仕掛けの核となる様、事業を行うべき。などの意見を頂いた。

今後は実用化を目指して販売ツール、販売価格帯、供給ラインなど、詳細面で検討が必要とされる

4. 泉佐野商工会議所【泉州こだわりタオルブランドの構築】

<今月の事業実施状況>

泉州こだわりタオル開発委員会

10月17日(火) 委員並びに試作者の出席により開発委員会を開催、森専門家委員よりブランドビジョンの中間(案)についてのご報告をいただいた上で再度内容について協議を行った。委員、試作者より、今後の販路開拓についての意見が多数だされ、業界団体としてそのあり方について協議を進めることとした。

同ビジョンは、これら意見を参考に中間報告として再度取りまとめることとなった。続いて、試作者より、各試作品の内容など報告を行い、出席者により求評を行った。

その後、「泉州こだわりタオル展」の、パンフレット、案内状、展示会場構成、商品モニターとアンケートについて、尾原専門家委員より説明を行い原案どおり進めることで承認された。

当月は、同委員会のほか、各試作者により展示用商品の試作、事務局により展示会場との打合せ、案内状約1000通の発送を行った。

また、試作品による「泉州こだわりタオル」パンフレット作成のため撮影、打合せ等作業を進めた。

PR事業

先月のPR委員会による、「泉州タオル」のポスター、タオル用ラベル、袋の作成作業を進めた。同品は、11月18日・19日の展示会に合わせ業界団体、関係団体により一斉にPRを実施する。

ポスターは、展示会に合わせ11月13日～19日まで、大阪難波駅及び地下鉄30駅にも掲示を行う。



10/17 泉州こだわりタオル委員会

<担当者のコメント>

11月の展示会まであと僅かとなり、タオル業界によるものづくりや関係作業も予定どおり進んでおり、最終段階である。

地元 大阪府立佐野工業(工科)高等学校の要請により、11月に同校生徒の学習の一環として、JAPANブランド事業「泉州こだわりタオル」の取組を、業界団体である大阪タオル工業組合 重里理事長より、報告することとなっている。

5. 神戸商工会議所【神戸ブランド Meets 上海】

<今月の事業実施状況>

打ち合わせ会

日時:10月3日(火)17:00~19:00

場所:神戸デイズ(高田氏の事務所)

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、神戸商工会議所:小寺 隆、関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子)

内容:(1)神戸ブランドとして出展を予定している「神戸コレクション」のショー出展料、ブース展示料をもとに、参加企業の自己負担割合を検討した。

(2)参加企業の募集方法や、対象となる企業候補について意見交換を行った。

(3)神戸コレクションの企画が近々決まるのに合わせて事業概要や募集要項の案を固め、「神戸ブランド Meets 上海プロジェクト」運営委員会を11月上旬に開催する事にした。



打ち合わせ会

日時:10月25日(水)17:30~19:30

場所:神戸デイズ(高田氏の事務所)

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、神戸商工会議所:小寺 隆、関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子)

内容:(1)事業内容に合わせた予算の内訳変更や今後のスケジュール等について調整した。

(2)募集案内パンフレットの原稿、デザイン等について検討。

(3)「神戸ブランド Meets 上海プロジェクト」運営委員会を11月13日(月)13:15~14:30に実施することが決まった。

<担当者のコメント>

テストマーケティングの機会として多数の企業に参加頂くことにより、神戸ブランドにおける企業や商品の魅力を伝えるとともに、各社にかかる参加経費の自己負担割合を抑えたい。

6. 今治商工会議所【Imabari タオルプロデュース ~「新 Towel ライフ」の演出~】

7. 中芸地区商工会【「魚梁瀬(やなせ)杉」再生プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

10月10日 Monacca ワーキング

100%デザイン東京展示会出展計画について検討。

傷・塗装の研究を県立森林技術センターに依頼

10月31日~11月5日 100%デザイン東京 展示会出品

<担当者のコメント>

10月31日~11月5日開催された100%デザイン東京へ、Monaccaを出品。今回の出展をとおして、更に認知度が高まる事を期待したい。只、今後の展示会等へ向けて目的を明確化していくことが必要であると感じた。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2006年10月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p>能代商工会議所 (木材製品)</p> <p><今月の実施状況> 今月(10月)の事業実施状況 1. 10月6日(金)調査事業の一環として「秋田杉のイメージ調査アンケート」を実施、委員5名で聞き取り調査「秋田スギについて」を実施した。 2. 10月13日(金)と25日(水)午後1時30分～、第2回、3回の「秋田杉ブランド推進委員会ワーキンググループ打合せ」をプラザ都にて開催、2月までの事業計画とその内容について協議並びに成果・事業報告書のまとめ方と資料の整理等について協議した。 来月以降(11月)の事業実施予定 1. 11月6日(月)、11月22日(水)第4・5回「ワーキンググループ打合せ」をプラザ都にて開催予定。 2. 11月15(水)～17日(金)東京での展示会「日本最大の住宅・建築(建材)関連見本市 in 東京ビックサイト」の視察研修会を企画。 3. 11月22日(水)。第3回委員会の開催、ゲストを招へいし、講話・勉強会の予定。 ゲストスピーカーに、原田浩司氏(財)秋田県木材加工推進機構・非常勤コーディネータ(山佐木材(株)東京営業所長)を招き、講話を頂き、秋田スギのブランド化について意見交換しながら、各事業の進捗状況を報告する予定。(第3回全体会議等)</p> <p><担当者のコメント> 直面した課題とその対応状況:3点について記入 ・ブランド化の確立の為に、何か形に残るものを想定する必要があると思料する。 ・秋田杉のイメージ調査を実施、報告書を作成。 ・木の香り漂う木造住宅と、その構造等の普及が必要で、関連の企画を要す。</p>
2.	<p>宮城県商工会連合会 (木地玩具、漆器の融合)</p> <p><今月の事業実施状況> 10月20日(金) 第2回ワークショップを開催し、出席した各専門家より、製品コンセプトや地場産業、市場動向について今後の戦略策定の際の材料となる資料を持ち寄っていただき、それらについて議論を行った。次回までに、本事業の戦略について大枠を固める。 そのため本日配布した資料をそれぞれ熟読し、問題点・提案事項について腹案を持ち寄ることが桂委員長より提案された。また、工人が保有する技術とのすりあわせが必要となるので、保有する製品を持ち寄ることとした。</p>
3.	<p>梁川町商工会 (ニット製品)</p> <p><今月の事業実施状況> ・ニット業者に対するアンケート調査の実施 伊達市5商工会の69ニット業者会員にアンケート調査、分析結果を実施した。 ・モスクワ現地調査の報告の取りまとめ。</p>
4.	<p>足利商工会議所 (雲井織)</p> <p><今月の事業実施状況> 10月4日(水)、足利銘織創造研究会(足利ブランド準備委員会)を開催し、今回からオブザーバーとして参加することとなった坂西商工会推薦の津久美織物(株)津久井喜彦氏を紹介した後、前回の続きによりリーディングプロジェクト案の意見交換が行われた。</p>

まず、(株)ブランド総合研究所田中アドバイザーから9月26日に行われた地域ブランド調査2006の報告が行われた。779市町村に対して約25000人の消費者にアンケートを実施し、魅力度ランキング(足利市は255番目)を取りまとめた。

続いて、前回の続きによりリーディングプロジェクト案について事務局から説明した後、メンバーの意見交換が行われた。

結論的に4つの項目に絞り込まれた。

- 1)体験型(お茶会、染物、ココファーム等)
- 2)かかあ天下シリーズ(誰に対して、いつ、どこで、どんなイメージか)
- 3)織姫+渡良瀬+食+ゆかた着物等(織姫ファッションコンテストで足利の魅力を)
- 4)オーダーメイド(誰に対して=この誰を決めてしまう。例:松浦あや等)このターゲットが満足するものを徹底的に作る。

足利の魅力度を上げるためには、(1)話題性(過去に誰もやったことのないことを行う)、(2)将来性を考えてプロジェクトを設定することが必要。

<担当者のコメント>

今後のプロジェクトの大きな柱が固まり、話題性が将来性を考えてのプロジェクトにするかが課題である。

5. 鹿沼商工会議所 (建具)

<今月の事業実施状況>

10月27日 第2回 JAPAN ブランド推進委員会を開催。
・フィンランドにおける調査概要について説明。市場調査における商品構成を検討した結果、組子技術を生かした遊具・折畳式の行灯など数点を選定した。また、鹿沼と建具・組子を説明した英訳のパンフレットの内容を検討した。



<担当者のコメント>

漸く海外市場調査に持参する商品が決定した。決定が遅れた原因は、パンフレットだけでは建具・組子を説明することが難しく、実際に商品を搬送することになった為である。海外市場調査の結果を期待したい。

6. 糸魚川商工会議所 (ヒスイ)

<今月の事業実施状況>

10/10 第4回ヒスイブランド推進委員会

1)海外市場調査の所見集約について

委員の所見を簡単に集約し、アドバイザーの意見を添えた。

海外市場調査について統計的資料的なものは市場調査会社と専門家にてとりまとめる。

委員所見 抜粋

- ・ 東京での展示会は大規模で、さらに香港の展示会はそれをはるかに上回るものだった。
- ・ 海外市場調査は中国市場関係者とのコネクション作りに有益だった。海外でヒスイ市場というもの存在が確かにある事もわかった。
- ・ 宝石としてのヒスイは、石そのものの良し悪しがすべてで糸魚川ヒスイという名称はあまり意味がないように感じた。
- ・ 中国の市街地でラベンダーの腕輪をしている女性が非常に目立った。但しヒスイかどうかはわからない。年齢層は広く街なかでも多くのプレスレットを売っていた。ヒスイが多く求められているのは流行なのか昔からなのか良くわからない。
- ・ 日本では輪の耳飾りが最も類装飾品。日本でも蘇生、蘇りなどの効能を謳っていた。
- ・ 日本では表にヒスイ出ていない。御徒町でもヒスイは中年しか買わないと言っている。但しパーツでは若者も買っている。

- ・ 香港では宝石としてすばらしいものが展示されていた。勾玉と言うものはほとんど無かった。あっても神秘性とか良さを感じられない様な物。勾玉と言ってもデザインはさまざま。
- ・ 業界で糸魚川ヒスイは誰でも知っている。しかしミャンマーヒスイと糸魚川ヒスイの品質の上下は特に無い。香港の街なかにあったヒスイ市場は偽物が多いかも知れないがイベントとして魅力的。
- ・ 糸魚川にもヒスイ市場作りたい。ジュエリー業界と不縁だったが目利きできれば良い市場。
- ・ 売り手と買い手の商売だから一律に価値計れない。価値判断難しい。誰を相手に商売するか、マーケットはどこなのか。
- ・ 中国の市場は大きいと感じたが、糸魚川の石を同じように並べてもだめ。所得格差のなか購買層に興味ある。
- ・ 御徒町で表にヒスイなし。JJ フェアはミャンマーの彫刻板を売っていた。ラベンダーの濃いものが珍重されていて、黒ヒスイの価値再認識。多色性が当地の売りになるのか。鶴見氏のところにもすばらしいものがあった。
- ・ 過去奴奈川塾で安価なもの、デザイン的なものを試作したことがあった。
- ・ 消費者調査の必要性あり。マーケットをどこにするか早急に絞る。

アドバイザ 抜粋

- ・ 中国では幸運魔除けを願ってヒスイをつけている。
- ・ 年配者の流行だが、中国では昔から子どもにもヒスイをつけさせていた。
- ・ 宝石店各店にかならずヒスイコーナーあるということはそれだけ需要あるということ。
- ・ 四川の成都に宝石市場ある。

2)宝飾品製作業界へのアンケート実施について

200 件程度業界のデザイナーやジュエリー作家へアンケート調査行う
アンケートの内容検討一部変更

3)次回委員会について

10 月 30 日 消費者アンケート原案について審議する。

10/30 第 5 回ヒスイブランド推進委員会

1)消費者アンケート原案について検討 別紙

実施主体は糸魚川商工会議所で市場調査会社をし実施者とする。

原案通り 200 サンプル程度のネット消費者アンケート実施。中国でも縮小規模で調査する。

委員意見

- ・ 過去にヒスイシンポジウムの時に学生に聞いた資料残っているかもしれない。アンケートの補足資料のために探してみる。
- ・ 中国でもある程度の消費者調査が必要。
- ・ 項目としてはヒスイの認知度、加工品の印象、石のイメージ、なぜ身につけているかなど非常に興味深い。

アドバイザ

- ・ ヨーロッパで東洋の神秘性をアピール。

2)次回委員会

11 月 8 日 ヒスイと観光関連施設についての各委員の意見集約。

<担当者のコメント>

依然調査分析の段階なので、大きな問題はない。アンケートなどまとまった時点で戦略を深く掘り下げたい。

7. 甲府商工会議所 (宝飾品)

<今月の事業実施状況>

委員会

1. 戦略審議セッション会議

第 3 回 日時 平成 18 年 10 月 23 日 (木) 午後 1 時 ~

場所 甲府商工会議所 401 会議室

内容 1) 基本的な共通認識の確認 (その 2)

2) その他

* (1)山梨、甲府のジュエリー産業の取組の流れについて確認 (2)JAPAN ブランド育成支援事業戦略策定の方向性について (3)JAPANブランド育成支援事業戦略策定全体像の説明 (4)産地の特性を活かした商品開発と情報収集について等を協議し全体像と方向性について承認された。

2. 戦略策定セッション会議

第7回 日時 平成18年10月5日(木) 午前10時30分～
場所 甲府商工会議所501会議室
内容 1)第3回戦略審議セッション会議に対する対応について
2)その他

第8回 日時 平成18年10月13日(金) 午後1時00分～
場所 甲府商工会議所501会議室
内容 1)第3回戦略審議セッション会議に対する対応について (その2)
2)その他

* 第3回審議セッション会議での提案内容は、第2回審議セッション会議での提案内容と方向が変更された。

これは、第2回審議セッション会議においての意見、業界との情報交換の結果、現状を踏まえた方向に変更した。

<担当者のコメント>

基本的確認事項の共通認識がされたので、これから具体的支援の検討に入る。

8. 静岡商工会議所 (家具)

<今月の事業実施状況>

中国市場調査に向けて、町田委員長および専門家である甲賀雅章氏を中心に、調査専門会社および静岡県家具工業組合「ビジョン委員会」メンバーとの間で、調査項目等についての事前検討を行った。これにもとづき、次回「第3回静岡家具ブランド戦略策定委員会」において、市場調査内容の最終検討を行う予定。

「第3回静岡家具ブランド戦略策定委員会」は、11月20日(月)開催予定。

<担当者のコメント>

10～11月にかけて予定していた市場調査の実施時期が若干遅れている。市場調査に1ヶ月余の期間がかかると思われ、市場調査実施後、調査結果の分析を行い、ブランド戦略アクションプランを策定する。限られた事業期間のなか、委員長と専門家の方の強力なリーダーシップはもとより、きめ細やかなスケジュール管理が必要になると認識している。

9. 豊橋商工会議所 (佃煮)

<今月の事業実施状況>

三河佃煮に関する消費者アンケートの実施

10月21日(土)、22日(日)

「豊橋まつり」会場への来訪者を対象

試食による感想等を含む。

約520のサンプルを得て集計、分析中

アンケート結果は、ブランド構築の参考データとする。

三河佃煮の製法毎の分科会を開催

三河佃煮の特長把握の一環として、佃煮の製法を切り口として、製法毎に分科会を開催し特長等を抽出した。

<担当者のコメント>

三河佃煮の定義づけに関して、取扱品目、製法等が多岐にわたっており、その絞込みをどのような基準で行うかについて検討を継続中。

10.	<p>瀬戸商工会議所（窯業）</p> <p><今月の事業実施状況> 10月16日、10月25日に第6回、第7回作業部会を開催し、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏と清水一徳氏を専門家として招聘し、3つのリーディングプロジェクトのシンボルとなる商品について商品名・キャッチフレーズ・商品説明文・ストーリーについて議論を実施した。</p>
11.	<p>蒲郡商工会議所（繊維製品）</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H18.10.11 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。 「今後、作成する企画内容について」 (1)産地技術調査の報告書作成 (2)メゾン・エ・オブジェ展等の視察調査分析 (3)国内市場生活者調査について (4)ジャパンプランドの今後の企画内容について ・H18.10.17 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。 「提出:報告書・企画内容について」 (1)産地技術調査の報告書作成 (2)メゾン・エ・オブジェ展等の視察調査分析 (3)国内市場生活者調査について (4)ジャパンプランドの今後の企画内容について ・H18.10.26 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。 「国内インテリア市場調査」インテリアファブリック・ホームファッション商品・生活雑貨用品を取り扱う店舗の調査 ・H18.10.31 「専門家による第3回産地技術調査」産地の企業調査(商品見本・技術調査)。当地域の現状分析のため、当地域の産元(織物関係)3事業所の技術調査を実施。
12.	<p>白川村商工会（薬草・山野草）</p> <p><今月の事業実施状況> 10月には JAPAN ブランド戦略策定支援事業専門委員会を2回開催及び市場調査を当地に於いて実施した。第7回目は、事業ブランドコンセプトに見合った委員のそれぞれの意見を伺うためにブランド化してみたい「モノ・サービスの提供」についてご提案(15項目)をいただき委員会にて検討を図る。第8回目は、白川村に来村された観光客の市場調査の中間報告をランドブレインより説明いただき、消費者の視点に立ったブランド戦略について意見交換を重ねた。</p>
13.	<p>高岡商工会議所（銅器・漆器）</p> <p><今月の事業実施状況> 第1回高岡ブランド戦略会議 10月4日(水) 場所:高岡商工ビル 業界関係者、行政支援機関、富山大学芸術文化学部(専門家)の委員等 23名の出席にて、総合プロデューサーの前田富山大学芸術文化学部長から戦略策定の説明後、ブランド戦略の内容について協議した。 次回から、ワークショップを開始することを確認した。</p>

岡崎エミ氏(工芸都市高岡2006クラフトコンペ審査員)との懇談会

10月26日(木) 場所:ウイングウイング高岡

岡崎エミ審査員(「リビングデザイン」編集長)とブランド戦略会議の若手業界委員等で、新しい伝統産業の方向性等について意見交換し、高岡のブランド戦略を協議した。翌日、数社を訪問し、現場を見ながら、指導を受けた。

<担当者のコメント>

若手を中心に業界関係者は、伝統産業の現状に危機感を持っており、新たな挑戦への意識も高い。これから、どう高いモチベーションを持続して、取組んでいける体制を築くかがカギである。

14. 大野商工会議所 / 勝山商工会議所 (醗酵食品)

<今月の事業実施状況>

1. 委員会の開催

(1) 10月5日 第5回検討委員会の開催

コーディネーターよりグループや個人的に行っている伝統的発酵食品の地元調査報告が行われるが、今後引き続き調査を行うこととなる。

国内及び国外調査について協議がされ、次回委員会に旅程等を提案することとなる。

地域ブランドとは何か? 奥越としてのブランド化は何か? について、次回委員会に近畿経済産業局及びコーディネーターより説明を受けることとなる。

(2) 10月20日 第6回検討委員会の開催

地域ブランド化について、近畿経済産業局より、奥越前のブランド化の進め方について、コーディネーターよりそれぞれ説明を受けた後、意見交換を行なう。

国内及び国外調査について協議が行われ、視察先別の参加者について協議が行われる。

次回の委員会には、今後どのような人に参画を呼び掛けていくかを検討するために、リストアップすることとなる。

2. セミナーの開催

10月5日

秋田県横手市より、よこて発酵文化研究所 谷金彌 所長と横手市地域局産業振興課の担当者を招き、「横手市の発酵文化による街づくり」をテーマに、地域の発酵関係者を対象にセミナーを開催。

11月の事業予定

(1)国内調査

11月8日～9日 佐賀県鹿島商工会議所

11月15日～17日 岩手県遠野商工会

11月28日～30日 東京方面

(2)委員会の開催

11月20日

<担当者のコメント>

セミナーを開催することにより、地域の発酵関係者に事業の取り組みの理解を得ることが出来た。

15. 鳥取県商工会連合会（インテリア）

<今月の事業実施状況>

10月6日(金)事業参画者会議

因幡ブランド確立にむけたアクションプランの策定、参画事業者の特性、ターゲット市場を検討。

16. 新市商工会（インテリア）

<今月の事業実施状況>

10月25日(水)19時10分～20時40分

第6回ワーキング委員会開催

1.フランス(ジパング)でのアンケート分析

配布枚数200枚 回収枚数149枚

フランス人の回答が大部分であり、30歳代～50歳代の女性からの回答が多い。

紺プロジェクトが調査対象とした年代層と重なり、有意なアンケートであると思料される。
提案書で想定したターゲットは検証ができた。

アンケート結果(概要)

質 問	回 答 内 容
1.紺を知っていますか？	知っている 55人 37% 知らない 94人 63%
2.紺を使ってみたいですか	はい 100人 67% いいえ 26人 39% 無回答 10人 7%
3.紺をどうやって使ってみたいですか。(使用用途)	1位 衣服 2位 装飾品 3位 袋物
4.この生地をどう思いますか。	非常に気に入った 83人 気に入った 56人
5.この生地について気に入った特徴は何ですか	1位 風合い 2位 生地 3位 日本風 4位 色合い (2位～4位はいずれも僅差)
6.どの製品が最も気に入りましたか。	1位 巾着 2位 ネクタイ 3位 ネコのぬいぐるみ

詳細については最終事業報告にて。

2.ドメインの決定

アンケート結果の分析に基づき、セレクトショップというチャンネルを想定し、生活シーンの提案という形をとることに決定。

3.カテゴリーの選定

1)衣料関係

2)インテリア関係

具体的なカテゴリーの選定に至る。

前々回課題のカテゴリーのアイテム表から製造が可能か選別を試みたが全アイテム製造可能という結論となった。

4.経営革新計画について

経営革新の重要性を踏まえ、参画事業者が経営革新を申請する方向になった。

5.コンセプトについて

備後紼として推進していくイメージを表現するのにキャッチフレーズを作成し、ブランドコンセプトの形成へと駒を進めることに決定。

課題としてワーキング委員会メンバー全員にキャッチフレーズを考えることが課せられた。

6.その他

・11月24日～25日の東京視察決定。

行き先 ジャパンテックス 5名予定

・12月7日 委員会・ワーキング委員会の開催決定。

<担当者のコメント>

・前回のワーキング委員会での渡仏した委員の感想と今回のアンケートの分析結果とでは、いい方向で違う面が多々あり、衣類というカテゴリーにも可能性を感じた。

・候補にあがった商品アイテムの全アイテムの製造が可能であるのがわかったが、同時にその販路が、無いに等しい状況であることも認識した。

17. 三加茂町商工会 (木製品)

<今月の事業実施状況>

10月5日

・プロジェクト実施委員会開催

事業の経過を委員に報告。

海外市場調査の結果を重点的に報告し、事業の方向性、予算状況について検討した。

・ワーキング会議開催

新商品開発のアイデアを検討。

SWOT分析等、事業推進のための手法を学習した。

10月10日

経営革新計画策定指導

参画事業者の経営革新計画の策定について、海外市場という新市場に新商品を投入するための具体的な計画策定のための専門家からの指導を受ける。

<担当者のコメント>

海外市場へ向けてリアリティーがでてきた一方で、商品開発の方向性の成否に不安を感じている。各社個々には卓越したものをもっているが、共同開発の経験がないので、新商品の開発に取り組み始めたところ予想通り各社ばらばらに試作している状態となってしまっている。商品開発の方法を修正する必要がある。

18. 五十崎町商工会 (和紙)

<今月の事業実施状況>

第5回戦略策定委員会(10月5日)

協議:前回(SWOT分析・ドメイン)について確認

生産体制について

インテリアトレンドショー視察について(11月22日～25日 東京国際展示場開催)

	<p><担当者のコメント> 前回見えてきた“どのようなものを、どういう対象に、どんな戦術で”、今後和紙産業化を進めていくかということを中心に、和紙を使って何をしたいか、各委員の意見を再度拾い出し、次年度を含めた、今後の方向性について再確認。</p>
19.	<p>香美市商工会（刃物、農機具）</p> <p><今月の事業実施状況> JAPANブランド検討委員会でブランディングストーリーについて検討する。 ・参加委員から土佐打刃物の歴史の転換期でどのような選択をしてきたを聞き取る。 ・土佐打刃物のそれぞれ商品についてターゲット・購入年齢層・製造及び販売価格・運営・広報・ユーザーの声をききとりする ・宿題としてコンセプト作りを依頼される。</p> <p><担当者のコメント> ・客観的に捕らえていた土佐打刃物のイメージ及び歴史的背景を参加者で話し合い確認しあうことにより、今まで見えなかったものが見えてくることが確認できたと思う。 ・課題としては、コンセプト作りやブランディングストーリー作り等の話し合いがずっと続いており具体的な海外見本市等の話がないので参加者から不満の声が上がりそう。</p>
20.	<p>大木町商工会（花菓産）</p> <p><今月の事業実施状況> 今月は特に活動なし</p>
21.	<p>小石原村商工会（陶器）</p> <p><今月の事業実施状況> ・「小石原秋の民陶むら祭」開催のため、委員会等は実施せず。 ・今後の予定 1. デザイン全般の習熟 ・城谷氏(デザイナー)のアドバイスを受けながら協議・研究していく ・岩下氏(グラフィックデザイナー)により情報発信の術を受ける。 2. 復刻版の制作 ・小石原に残る陶器の復刻版の製作を行う。制作する形については伝統産業会館および小石原村の資料により選択をおこなう。 3. 市場調査(事業が進められて行く中で、再検討する) ・東京ギフトショー(ビックサイト2月13日) ・海外市場調査(イタリア2月14日～) 4. 調査部会については視察・研修等随時行っていく。</p> <p><担当者のコメント> ・今後調査部会では、デザイン全般への習熟と小石原焼復刻のワークショップ的なものを行ってゆき、その中で来年度へとつながる活動内容、今後製作すべきモノを探ってゆく予定である。</p>
22.	<p>城島町商工会（瓦インテリア、河川用環境ブロック）</p> <p><今月の事業実施状況> 平成18年10月10日 第一回城島瓦 JAPAN ブランド実行委員会 1 委員委嘱状交付</p>

2 委員長、副委員長選任
委員長 今村容生、副委員長 江副直樹に決定

3 議事

(1)これまでの検討結果の総括

時系列による全体のまとめ 江副(2)第一回デザイン部会ブリーフィング 町谷、高木

(3)第二回技術部会ブリーフィング 阪本(福岡県工業技術センター)

(4)第一回市場調査部会報告 今村理事長

(5)今後の検討の方向付け 江副

平成 18 年 10 月 23 日～28 日

第二回城島瓦 JAPAN ブランド(市場調査部会)視察研修

調査場所: Entsorga-Enteco2006(ドイツ、ケルン市)

アムステルダム市街の町づくり及び運河の状況

ライン川、ネッカー川の護岸状況

ハイデルベルグ市街の町づくり

23. 那覇商工会議所 / 国頭村商工会 (三線)

<今月の事業実施状況>

10 月でのワーキンググループの会合で決定し行動したこと。

- ・次年度確立支援事業に向け、自己負担分資金確保のため県に要請、厳しい状況であるが今後も粘り強くやる。
- ・三線製造業者後継者育成として、那覇市のパッケージ事業(厚生労働省)で実施するよう働きかけた。
- ・県産材の琉球松を使って圧密技術で三線を試作し、沖縄産業まつりに出展、三線ブランド化推進のためのPRと事業の周知を図った。
- ・三線の伝統工芸品認定を目的とした組織化の動きがあるため、そのグループに対しブランド化推進についても必要性を訴え組織化目的の重要な柱とするよう働きかけた。

<担当者のコメント>

外国産材の三線が出回るなか、三線製造技術も流失し、後継者育成問題は急務である。行政に働きかけたところ一定の理解がえられ、後継者育成について那覇市のパッケージ事業の中で実施するかどうかの検討を行うこととなった。